

子どもたちのために身を粉にして働く教職員

高槻教職員組合

宮田 周治

大阪北部地震による高槻市の被害も甚大で、教職員たちは児童生徒の迅速な誘導、安全確認など、子どもを最優先に行動しました。校舎や通学路の安全点検、校舎内外の片付けなど必死の復旧作業に取り組み、地震によって心に傷を負った子どもたちに寄り添ったケアも行い、授業再開に向けて努力してきました。

また、台風21号でも大きな被害を受け、ひどいところでは窓ガラスの破片が運動場いっばいに落ち、運動場が使用できなくなっています。昼食を分かつたず必死にがんばる教職員の中から他府県を受験されて転勤される方が後を絶ちません。それは誇りをもって働ける賃金・労働条件になっていないからです。他県と比べて休暇制度も劣っています。そして大阪だけが年収ダウンの質下げ働告が出されました。この10年、私たちは、まともな給料をもらっていません。こんなことを続けているのは誰も大阪で働きたいなんて思いません。府民のために誇りを持って、安心して働けるよう

にしてください。そのためには、何としても賃上げが必要です。公務員の給料が上がることによって、民間の給料も上がるだろうし、購買力も生まれ、景気も良くなり、結果的に大阪全体を元気づけることに必ず繋がると思っています。府の人勤を見直し、賃下げではなく、賃上げをして「大阪から人が逃げる」ことがないようにしてください。

職員が安心して業務ができるようにしてほしい

府職労保健所支部 長池 敦子

賃金の低さと過酷な労働に加え、ひとりの職員への責任の押しつけ、相對評価による生涯賃金にまで影響するもとで、大阪府で人材育成をしてきた貴重な人材が他府県へ流れています。何でもわかる中堅以上の職員が少なく、5年目以下の若手職員が半数を超える状況です。1人の中堅職員がグループや課のマネジメントし、半数以上の若手職員の人材育成もしつつ、自分の業務をこなしている状況です。昼休みも仕事をし、新採職員の相談にものりながら昼食をとる毎日です。日中は電話対応や来所者の対応などで集中して仕事ができます、どうしても自分の仕事

後回しになり、時間外にやらざるを得なくなりますが、管理職からは「時間外をするな、工夫できないのか」とさらに追い込まれ、資料作成や企画案、後輩が作成した文章の校正等は自宅で行っている状況もあります。

職員が安心して業務ができるようにしてほしい

南河内地区教職員組合 永井 伸和

近、私が知っているだけで8人の保健師が辞めました。部分休業を取る時に「どうしても取らないといけないのか」と言われたという話も聞きました。働きつづけれない大阪府をどうか返上してください。そして、個人の善意で業務をこなさせるのはもうやめてください。大阪府の職員はみんな優秀で自分ががんばる職員がほとんどです。職員が安心して業務ができるよう抜本的に諸制度を改善してください。

況です。私の学校でも23%が臨時教職員です。同じように授業を持ち、部活動の指導に当たり、生徒指導や分掌の仕事も全て同じように担当しています。臨時教職員には「空白の一日」といわれる「任用されない日」が年度末にあります。実際に入学式や新しい学年の準備等で多忙な業務を臨時教職員抜きで行うことは困難で、その日も出勤して仕事をします。臨時教職員に支えられて学校が回っています。

職員が安心して業務ができるようにしてほしい

府職労青年部 塚元 寛貴

病休や産育休の代替講師が見つからず「穴があく」状況もあちこちの学校で発生しています。職員・教職員の質下げにより近隣他府県との賃金格差が増大し、多くの若い先生が奈良や京都の学校に転動しています。そのうえ、臨時教職員は一定の年齢に達すると昇給せず頭打ちとなりませ。同一労働同一賃金という当たり前のことを実現することが「大阪を見限って先生が逃げる」

初任給・青年層の賃上げ 相對評価の中止を

府職労青年部

事態に歯止めをかけてこそ、「教育の穴」を埋め戻すことができます。職種別民間給与実態調査の結果では、初任給は民間よりも高卒で3,000円程度、大卒で4,000円程度安く、近畿2府4県の比較でも、京都、兵庫に次いで3番目は大阪府に入庁する

職員が賃金だけで選んでいるのではないでしょうが、良い人に来てほしいなら民間や他の公共団体並みではなく、一歩先を行く労働条件の改善が必要不可欠です。これからの大阪府を背負っていく未来の青年・若手職員が安心して働き続けられるよう初任給を始めとした青年・若手層の賃上げは喫緊の課題です。相對評価によって職場は確実に疲弊しています。

職員が安心して業務ができるようにしてほしい

本庁のある青年が一入

本庁のある青年が一入庁後、初めて相對評価の開示面談を受けたときに「申し訳ないが我慢してくれ」と言われた」と話してくれました。相對評価によって、このような境遇におかれる青年が生まれていることは紛れもない事実です。やる気にもつながらず、逆に大阪府への不信感を抱き、結果としてよい方向には向かいようがありません。相對評価はただちに中止すべきです。

◆2018年度 秋季年末調整「最終回答」と「府労組連の態度(※)」

Table with 3 columns: 要求項目 (Requirements), 回答要旨 (Summary of Responses), 態度(※) (Attitude). Rows include items like 1. 労務慣行遵守, 2. 賃金・給与引上げ, 3. 一時金引上げ, 4. 「相對評価」中止, 5. 府職員・教職員の適正な定数増, 6. 障害のある職員に対する環境整備, 7. 勤務時間の短縮, 8. 教職員の長時間労働の解消, 9. 休暇等の制度取組, 10. 職場環境の改善・労働安全衛生対策の強化, 11. 咲洲庁舎新築・職場環境改善, 12. 「安全・安心な学校」に向けた環境整備, 13. 互助会・互助組合への補助金増額・福利厚生取組.

本庁のある青年が一入庁後、初めて相對評価の開示面談を受けたときに「申し訳ないが我慢してくれ」と言われた」と話してくれました。相對評価によって、このような境遇におかれる青年が生まれていることは紛れもない事実です。やる気にもつながらず、逆に大阪府への不信感を抱き、結果としてよい方向には向かいようがありません。相對評価はただちに中止すべきです。